教育関係共同利用拠点水圏ステーション特任助教公募

2026年9月9日

各国公私立大学（学部）長 殿
各関係機関の長　　殿

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
教育関係共同利用拠点水圏ステーション特任助教候補者選考委員会
委員長　仲岡　雅裕

教員の公募について（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター（以下、「センター」という）におきましては、下記の要領により、文部科学省教育関係共同利用拠点「食糧基地，北海道の水圏環境を学ぶ体験型教育共同利用拠点―特色ある水圏生態系の理解に基づく産業グローカルな視野の醸成―」（付記１参照）に関わる教員を公募することになりました。つきましては、貴学・貴施設関係者に周知くださいますとともに、適任者のご推薦をいただきたく、ご依頼申し上げます。

よろしくお願い申し上げます。

記

１．職種：特任助教　１名

２．任期・更新の有無：2027年3月31日迄（業績等により、2030年3月31日迄の期間において、単年度単位で契約の更新が可能）

３．所属・分野等：（付記２参照）
担当ステーション：水圏ステーション
教育研究部：水圏研究領域

４．勤務地： 忍路臨海実験所　〒048-2561 北海道小樽市忍路町1-460
または
忍路臨海実験所札幌研究室　〒060-0809 北海道札幌市北区北9条西9丁目
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター別棟

５．**職務内容**：（雇い入れ直後）文部科学省教育関係共同利用拠点「食糧基地，北海道の水圏環境を学ぶ体験型教育共同利用拠点―特色ある水圏生態系の理解に基づく産業グローカルな視野の醸成―」に関する教育・研究業務
（変更の範囲） 変更なし

６．**応募資格・条件**

（１）採用時において博士の学位を有する方
（２）藻類を材料にした生物学・水産学、または水圏生物を対象としたフィールド科学に関連する分野において優れた業績、教育・研究能力を有する方
（３）学内外の学生・大学院生等を対象とした臨海実習や外来利用学生の受け入れなど、教育関係共同利用拠点にかかる業務に関して、忍路臨海実験所、臼尻水産実験所、七飯淡水実験所の設備機器・機材等を積極的に活用して、その企画・遂行に責任を持って取り組める方
（４）忍路臨海実験所、臼尻水産実験所、七飯淡水実験所およびその他の水圏ステーションの地方施設やセンターの野外研究施設等の管理に意欲と責任感をもって参加しうる方
（５）地方施設における勤務、研究、社会教育を含む地域との諸関係などについて対応できる方
（６）当教育関係共同利用拠点が行う活動の情報発信および情報管理ができる方
（７）日本語および英語で教育が行える方
（８）普通自動車免許を有し、運転業務を行える方

７．**採用予定日**：2027年1月1日以降できるだけ早い時期

８．**試用期間**：あり（１ヶ月）

９．**給与**：国立大学法人北海道大学特任教員就業規則及び国立大学法人北海道大学年俸制の適用に関する内規等による

10. **勤務形態**：同意に基づく専門業務型裁量労働制（※）または固定労働時間制が適用されます。（※1日に7時間45分労働したものとみなす。

11. **健康保険等**：文部科学省共済組合、厚生年金、労災保険、雇用保険加入

12. **募集者の名称**：国立大学法人北海道大学

13. **受動喫煙防止措置の状況：**特定屋外喫煙場所を除き、敷地内禁煙

14. **応募書類**

（１）履歴書　１通（顔写真付き、6ヶ月以内に撮影されたもの）

※2013年4月1日以降、北海道大学に在職経験（非常勤講師、TA、TF、RA、短期支援員などすべての職種を含む）のある方は、当該職歴を漏れなく記載してください。

（２）研究業績目録　１部（付記３参照）

学術論文（査読有）、学位論文、著書、総説、その他（査読なし）に分けて記載してください。また、国際的・全国的シンポジウムのオーガナイザー、招待講演、各種受賞、競争的研究費や受託研究費の獲得状況なども記載してください。教育業績には、講義・実習の担当やその他の大学内外における教育活動の参考となる事項を記載してください。

（３）主要論文５編以内の別刷またはコピー

（４）これまでの教育・研究、社会貢献の実績（2,000 字以内）1 部

上記主要論文等の実績を含めて具体的に記述してください。

（５）応募にあたっての抱負など（2,000 字以内）１部

採用後における教育・研究の展開に関する抱負、特に教育関係共同利用拠点の運営に関する抱負などを記述してください。

（６）応募者について照会できる２名の氏名と連絡先E-mail

（ただし、応募者は照会者に連絡を取る必要はありません）

15. **応募期限：** 2026年10月16日（金）必着

16. **応募書類の提出先**

〒060-0811 札幌市北区北 11 条西 10 丁目

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター

係長（総務担当）宛

※「水圏ステーション特任助教公募」と朱書きし、書留で郵送してください。

※ 応募書類は原則として返却しません。

※ 電子メールの添付ファイルによる応募も可能です。その際は応募書類を PDF ファイルにまとめてください。送付する電子メールの件名は「水圏ステーション特任助教公募」としてください。

提出先のメールアドレスは　syomu AT fsc.hokudai.ac.jp です（AT を@に置き換えてください）。

※ 応募書類に含まれる個人情報は、選考目的以外には使用いたしません。

17. 選考方法

書類選考を中心としますが、必要に応じて面接を行うこともあります。ただし、面接に際して交通費は支給しませんので、あらかじめご了承ください。状況により、面接はインターネットを通じて実施する場合があります。

18. 問い合わせ先

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
水圏ステーション・忍路臨海実験所・四ツ倉典滋 (yotsukur AT fsc.hokudai.ac.jp; ATを@に置き換えてください)

北海道大学では、多様な人材による教育・研究活動の積極的な推進に努めております。また、教育・研究活動と生活の両立支援、能力発揮・活躍環境整備も積極的に進めています。取り組みの詳細は、以下のウェブサイトを参照してください。
https://diversity.synfoster.hokudai.ac.jp/statement/

付記

1）水圏ステーション忍路臨海実験所、臼尻水産実験所、七飯淡水実験所は、文部科学省教育関係共同利用拠点「食糧基地，北海道の水圏環境を学ぶ体験型教育共同利用拠点―特色ある水圏生態系の理解に基づく産業グローカルな視野の醸成―」に認定されています。詳細については、(https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/wordpress/) をご参照ください。

2）「センター」は、研究林・牧場・農場・植物園・臨海実験所などの施設を統合して設立された学内共同施設（研究施設）です。教員は、森林圏ステーション・耕地圏ステーション・水圏ステーション（本公募のステーション）のいずれかに所属し、各施設およびセンターの管理運営にあたるとともに森林圏研究領域・耕地圏研究領域・水圏研究領域・統合研究領域からなる教育研究部（領域）に所属して、教育・研究を行っています。「センター」の詳細については、ホームページ（https://www.fsc.hokudai.ac.jp/）を参照してください。現在、水圏ステーションは、教授５名・准教授５名・助教２名で構成されています（特任教員含む）。

3）業績目録の様式は下記よりダウンロードしてお使いください。
https://www.fsc.hokudai.ac.jp/recruit/
ただし、必要な情報がすべて入っていれば、他の書式でも構いません。